

令和8年度 地域クラブ活動推進協議会（第2回） 議事録

日 時 令和8年9月14日（月）15時30分～
場 所 中井町役場 3A会議室
出席者 小嶋会長、中井スポーツパートナーズ 黒柳氏（代理出席）、
さとまちのみりよく 小澤代表、山口副代表、
ぷらっとスポーツ 小宮代表、中井中 石川校長、山田教諭、
中面 PTA 会長、加藤教育長

（事務局）

藤澤主幹兼生涯学習班長、安藤指導主事

傍聴者 なし

1. 開会（進行：指導主事）

2. 教育長あいさつ

- ・ 部活動の地域展開が本年4月からスタートし、少しずつ形になってきていることに感謝申しあげる。
- ・ 7月21日の神奈川新聞にて、県内自治体の地域展開進捗状況が報道された。開成町が80%台で最上位、大磯町・松田町・南足柄市・山北町・秦野市・中井町の順で、中井町は10%台。
- ・ 秦野市は部活動数が107と多いにもかかわらず20%台の進捗。特色ある取り組みによるものではないかと感じている。
- ・ 本年度、男女ソフトテニス部から地域展開をスタートしたが、活動を進める中で様々な課題が見え始めており、今後の他部活への展開に向けて本日の検討を進めたい。

3. 協議事項

（1）令和9年度の地域展開実施種目の検討

（事務局）

- ・ 資料に基づき説明
 - 令和9年度については、「吹奏楽部」「女子バスケットボール部」「陸上競技部」の3部活動について、地域展開を実施する方針。

【加入状況等について】

（会長）

- ・ 女子バスケットボール部の1年生が0人という状況について、このまま移行すると来年度活動がなくなってしまうのではないかと。

（事務局）

- ・ 来年度の1年生入部状況次第。5人以上の入部があれば募集継続、4人以下であれば次年度以降募集停止となる可能性がある。

（ぷらっとスポーツ代表）

- ・ 部活動の加入率が年々低下しているように見えるが、子どもたちが放課後どのようにスポーツ・文化活動と関わっているのか実態が気になる。

（事務局）

- ・ 後述のアンケートを通じて放課後の子どもたちの活動状況等を確認していきたい。

(教育長)

- ・ 野球・サッカー等、学校に部がない、または部員が少ない種目では、保護者が費用を負担し地域のクラブチームで活動している生徒が一定数いることは聞いている。

【陸上部の指導者について】

(会長)

- ・ 陸上競技部は部活動指導員が未配置だが、指導者確保についてどのように考えているか。

(事務局)

- ・ まずは、スポーツ協会を通じて、地域の陸上関係者の中から指導者を探していきたい。難しい場合は吹奏楽部同様、公募も検討する。

(会長)

- ・ スポーツ協会の立場からも協力する。協会として陸上部門があり、足柄上地区一周駅伝への協力の経緯もある。理事会でも担当部会長に相談するので、時間をいただきたい。
- ・ 陸上部は主にどのような大会に参加しているのか。

(中井中学校 部活動担当)

- ・ 陸上部の主な大会は、5月末～6月頭の全国大会につながる大会、9月上～中旬の総合体育大会、10月中旬の駅伝大会の3つ。その他記録会にも随時参加している。
- ・ 総合体育大会では、他部活の引退した3年生が夏休み中に練習し「特設陸上部」として参加する仕組みが他校にはあるが、本校は陸上部所属者のみでの参加となっている。

➡令和9年度の地域展開実施種目について、提案のあった方針で進める。

(2) 部活動地域展開に関するアンケート項目の検討

(事務局)

- ・ 資料に基づき説明
 - ①現行の地域クラブ（男女ソフトテニス部）関係者向けアンケート
 - ②中学生及び小学5・6年生を対象とした全体アンケート

(ぷらっとスポーツ代表)

- ・ 全体アンケート（中学生・小学5、6年生対象）について、内容・目的をどう考えているか。

(事務局)

- ・ 子どもたちがどのようなスポーツ・活動を望んでいるか、ニーズの掘り起こしが目的。具体的な設問内容は現時点で未確定。

➡アンケート項目案の内容で進めることについて了承。

(3) 令和9年度の活動に向けて

(事務局)

- ・ 資料に基づき説明。
 - ①指導者・現場管理者の体制の見直し
 - ②広域連携の可能性

(ぷらっとスポーツ代表)

- ・ 2名体制とした際の理由、前提条件を確認したい。

(事務局)

- ・ 2名体制の最大の理由は安全管理。学校の先生が担ってきた役割を地域クラブへ移行する中で、保護者の不安（緊急時の対応）に応えるための体制。近隣では松田町など指導者1名体制の自治体もある。

(ぶらっとスポーツ代表)

- ・ 中井町として安全面の手当てが整った上での1名体制であれば問題ないが、整っていないのであれば2名体制を維持すべき。事故が起きた際に現場や指導者が責められることのないようにしてほしい。

(PTA 会長)

- ・ ルール見直しの目安の時期はいつ頃を想定しているか。

(事務局)

- ・ 年度内を1つの区切りとし、新年度は新しい体制で運用したい。ルールを変更する場合は必ず本協議会に諮る。

(教育長)

- ・ 原則2名体制（指導者1名・現場管理者1名）は維持する方針に変わりはない。今年度、2名の都合が揃わず活動できなかった事例があったことを踏まえ、1名でも安全確保が可能と事前に確認できた場合に限り、例外的に1名対応を可能にするという考え方。安易に1名対応を認めるものではない点を十分に理解いただきたい。
- ・ 現在、校区内（中学校区内の総合グラウンド・テニスコート等）を活動範囲としているが、他校への練習試合等での移動を今後どう扱うか検討が必要。
- ・ 部活動の大会時、地域指導者がベンチに入る・試合中にアドバイスをすることは今年度「なし」としているが、他自治体では柔軟に運用している例もあるため、来年度に向けて緩和の方向で検討する。作業部会で整理のうえ、改めて協議会に提示する。

(事務局)

- ・ 広域連携について、今年度男女ソフトテニス部の校内練習に他町から練習試合形式で参加する動きがあった。部員数の減少はどの町も共通の課題であり、広域連携への機運は高まっているが、具体的な検討はこれから。単発の講座・教室形式なども含め、可能なところから進めていきたい。

(PTA 会長)

- ・ 他市町村の地域クラブ活動の進捗はどのような状況か。

(さとまちのみりょく)

- ・ 自治体によって差が大きい。開成町は土日の地域展開を全部活動で実施済みだが、大井町はこれからという状況。
- ・ 進捗の差の要因として、受け皿となるクラブの有無や、1町1校か複数校かによる連携のしやすさが挙げられる。

(PTA 会長)

- ・ 中井町は中学校が1校であることが、連携のしやすさという点で強みになるのではないか。
- ・ サッカーや野球については、クラブチームが数多く存在しているが、保護者同士で送迎の助け合いが必須。地域展開がうまく進み、誰もが地域で活動に参加できるようになれば嬉しい。

(教育長)

- ・ 生徒数の減少により、足柄上地区のそれぞれの自治体が単独でチームスポーツを維持するのは今後厳しくなる一方で、経済的な理由からクラブチームには通わせられない家庭もあり、そうした家庭の子どもの活動機会もきちんと保障しなければならない。上地区全体で、地域展開をどう進めていくのかを考えていく必要がある。

4. 次回日程

- ・ 第3回推進協議会は令和9年2月4日（木）15時30分～。会場は別途通知。

5. 閉会